

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 新地芝居大国ぎふ魅力発信事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部県民文化局文化創造課文化振興係 電話番号：058-272-1111 (内 2458)

E-mail：c11146@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 44,000 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	44,000	0	0	0	0	0	0	0	44,000
決定額	44,000	21,928	0	0	0	0	0	0	22,072

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

2015年9月にリニューアルオープンした「ぎふ清流文化プラザ」では、県民参加型の文化発信拠点を目指し、伝統文化をはじめ幅広く文化振興事業を展開している。中でも伝統文化の面では、全国有数の地歌舞伎保存団体と、昔ながらの芝居小屋が数多く残る“地歌舞伎大国”として魅力発信に取り組んできた。

令和6年度に岐阜県で開催される国民文化祭に向け、文楽・能・獅子芝居といった県内で盛んに演じられている他の伝統芸能にまで裾野を広げ、県内外へ一体的に発信することで、全国規模での発表、共演、交流に向けた環境醸成や、知名度の向上につなげる。

(2) 事業内容

① 地芝居 (地歌舞伎、獅子芝居、文楽・能) 公演の開催

ぎふ清流文化プラザでの地芝居公演を開催する。

② 地芝居大国ぎふPRコンテンツの制作・広報

地芝居大国ぎふを国内外に広くPRするリーフレットの制作を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

県負担とする。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	150	講師等報償費
旅費	144	業務旅費
需用費	10	消耗品費
役務費	9	郵送料
委託料	43,437	地芝居公演委託費 28,968、PRコンテンツ制作委託費 751
使用料	250	会議室等使用料
合計	44,000	

決定額の考え方

財源については、地方創生推進交付金を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

3 地域にあふれる魅力と活力づくり

(1) 地域の魅力の創造・伝承・発信

① 「清流の国ぎふ」文化・芸術の創造・伝承

(2) 国・他県の状況

○石川県（令和5年度国民文化祭開催予定）

・能楽鑑賞機会提供、伝統芸能技能向上支援 R3年度 20,120千円

・いしかわの伝統芸能WEBシアター R3年度 77,000千円

(3) 後年度の財政負担

令和6年度まで継続実施予定

(4) 事業主体及びその妥当性

地歌舞伎公演の開催、PRコンテンツ制作には県内の地芝居保存団体とのネットワークを有し、ぎふ清流文化プラザの施設設備等を熟知している必要があるため、これらを兼ね備えた民間法人に委託する

事業評価調査（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

ぎふ清流文化プラザや県内芝居小屋での地芝居公演、地芝居のPRコンテンツの制作により、地芝居の魅力を県内外に広く発信するとともに、多くの県民等に鑑賞機会を提供し、文化芸術の振興を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R6)	
					目標	達成率
① 公演における地芝居を初めて見た観客の割合	—	—	5%	10%	15%	-%
② 公演における県外からの観客の割合	—	—	5%	10%	15%	-%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
<p>(評価)</p> <p>3</p>	<p>令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で各地の地芝居公演が軒並み中止になっており、地芝居公演を観賞する機会がほぼない状況である。公演を県が公演を主催することやPRコンテンツの制作により、鑑賞機会の創出につながる。</p>
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
<p>(評価)</p>	
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
<p>(評価)</p>	

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</p>

(次年度の方向性)

<p>令和6年度に岐阜県で開催予定の国民文化祭での地芝居の全国規模での発表、共演、交流に向け継続実施する。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	<p>地芝居大国ぎふウェブサイト保守管理事業費 【文化伝承課】</p>
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	<p>地芝居大国ぎふWEBミュージアムにおいても、本事業で制作したPRコンテンツを掲載することで、更なる広報効果が得られる。</p>